

| | | | |
|------|------------------------------------|--------|----------|
| 科目名 | Introduction to American Culture I | | |
| 英語科目 | ○ | ナンバリング | LUItc211 |
| 開講期 | 春学期 | 開講学部等 | 外国語学部 |
| 教員名 | 宮澤 直美 | 配当年次 | 2年次 |
| | | 単位数 | 2単位 |

授業概要／Course outline

この授業は基本的に英語で行う。

アメリカはどのような文化や言説によって形成されている国なのか、移民と多文化主義、ナショナリズム、人種問題、ジェンダー、戦争等をテーマに据え、歴史的な流れの中で、多方面からの理解を目指す。歴史的背景を学ぶだけではなく、現代アメリカの抱える諸問題に歴史がどのように関連しているのか、また、アメリカ人の日常生活にそれらの問題はどのように組み込まれているのかを検証する。

具体的には、最新のアメリカの動向を伝える英語の資料(ニュース記事, リサーチ・データ, 宣言文, 小説, 映画, 動画, 音楽)を受講生自らが調べ、それらを分析・考察し、英語でディスカッションするなど、異文化を能動的に学習する機会を組み込む。加えて、学内外の留学生や海外からの旅行者に英語でインタビューする体験的学習を通して、他者の異文化交流と自らの異文化交流を対比させつつ、よりアカデミックな視点から異文化交流を理解する機会を設ける。

受講生は、本授業の終盤において、興味のあるテーマを選び、調査し発表することで、世界の文化の多様性に対する理解を深めるとともに、確かな分析力や思考力を鍛えていく。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／グループワーク）
ディスカッション:アメリカ大統領演説と独立宣言の影響について受講生が調査し、英語で話し合う。
ディベート:同化政策 VS 多文化主義
- ・ICTを活用した授業（形態：クリッカー、タブレット端末、スマートフォン等を活用した双方向型授業）
Moodleを用いた授業内クイズやフィードバック、出席確認をする。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 イントロダクション/「アメリカ」とは何か(授業の概要, 進め方, 評価について教員が説明する。)

第2回 Making of America (コロンブスによる「発見」という歴史を再考する。)

第3回 独立宣言, アメリカ合衆国憲法

(ディスカッション:アメリカ大統領演説と独立宣言の影響について受講生が調査し、英語で話し合う。)

第4回 移民の歴史(ディスカッション:世界の多様な文化を内包する多民族国家アメリカについて、英語で話し合う。)

第5回 同化政策からマルチカルチャリズムへ(同化政策からマルチカルチャリズムへの世界的な流れを理解する。)

「教員－学生間の対話」実施

第6回 マルチカルチャリズムと移民

(異文化交流体験報告:英語での調査結果や留学などの異文化交流体験を共有し、ディベートをする:同化政策 VS 多文化主義)

第7回 マイノリティーズ1: ネイティブ・アメリカン

(世界のマイノリティーについて教員が解説した上で、アメリカのマイノリティーの一例としてネイティブ・アメリカンを取り上げる。)

第8回 マイノリティーズ2: アジア系アメリカ人

(異文化交流体験報告:英語でのインタビュー結果や留学などの異文化交流体験を受講生同士で共有する)

第9回 アメリカン・ドリーム(西部開拓、自営農地法、夢の綻びについて教員が解説する)

第10回 ナショナル・アイデンティティー

(アメリカン・ドリームについてこれまでに学んだこと, 調べたことの総括として, ディベートをする。)

第11回 奴隷制(ジム・クロー・ロー, 市民権運動などについて学ぶ。)

第12回 黒人文化(ディスカッション: ミンストレル・ショー, ジャズについて受講生が調べたことを, 英語で話し合う。)

第13回 愛国主義とヒロイズム(リサーチ課題の共有:アメリカ映画, 音楽にみられる愛国主義を受講生が調査し発表する。)

第14回 9.11(ディスカッション:アメリカン・ヒーローについて受講生が調べたことを, 英語で話し合う。)

第15回 試験と解説によるまとめ

「学習成果実感調査」実施

* 尚、スケジュールは受講生の人数などによって変更する可能性がある。

準備学習等（事前・事後学習）／Preparation and assignments

第1回：イントロダクション／「アメリカ」とは何か

事後学習：Moodle上の課題をする。

第2回：Making of America

事前学習：資料を読む。

事後学習：Making of Americaという視点から、今日の授業はどのようにとらえることができるか考える。

第3回：独立宣言、アメリカ合衆国憲法

事前学習：資料を読む。

事後学習：Moodle上の課題をする。

第4回：移民の歴史

事前学習：資料を読む。

事後学習：移民の歴史－移民排斥法、エリス島と自由の女神などについて復習しておく。

第5回：同化政策からマルチカルチュラリズムへ

事前学習：資料を読む。

事後学習：Moodle上の課題をする。

第6回：マルチカルチュラリズムと移民

事前学習：資料を読む。

事後学習：ここまでの授業を全て復習し、Moodle上の課題をする。

第7回：マイノリティーズ1：ネイティブ・アメリカン

事前学習：資料を読む。

事後学習：Making of Americaという視点から、今日の授業はどのようにとらえることができるかまとめておく。

第8回：マイノリティーズ2：アジア系アメリカ人

事前学習：資料を読む。

事後学習：授業中に紹介した映画やエッセイなどを中心に配布プリントを読みなし復習する。

第9回：アメリカン・ドリーム

事前学習：資料を読む。

事後学習：配布プリント等を復習しまとめておく。

第10回：ナショナル・アイデンティティー

事前学習：第3回独立宣言、アメリカ合衆国憲法で学習した内容を復習しておく。

事後学習：資料を復習しまとめておく。

第11回：奴隷制

事前学習：資料を読む。

事後学習：資料を復習しまとめておく。

第12回：黒人文化

事前学習：資料を読む。

事後学習：資料を復習しまとめておく。

第13回：愛国主義とヒロイズム

事前学習：資料を読む。

事後学習：課題をまとめて次回提出する。

第14回：9. 11

事前学習：資料を読む。

事後学習：配布プリントを復習しまとめておく。

第15回：試験と解説

事前学習：資料を再読し知識の確実な習得に努める。

* その他、グループワークのための事前調査課題などを追加することもある。

* 事前学習は各授業2時間、事後学習も各授業2時間必要である。上の内容を確認して、しっかりと事前・事後学習を行うこと。

授業の到達目標/Expected outcome

1. アメリカの歴史、社会、文化について基本的な知識を習得しながら、世界の文化の多様性を理解し、異文化に柔軟に対応できる適応力を培う。
2. 受動的に知識を吸収するだけでなく、疑問を持ち、能動的に調査し考察する重要性を理解する。
3. 授業で扱ったアメリカ文化のトピックに関して、論理的に思考することができるようになること。
4. 自分の分析をわかりやすい言葉で表現できるようになること。
5. グループワークを通じてコミュニケーション、ディスカッション能力を高めながら、異文化コミュニケーションの現状と課題について理解できるようになること。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

・ 思考力

専門知識・専門技能

【外国語学部 英語学科】

- ・ 異文化理解
- ・ 世界情勢と学習言語圏の理解
- ・ 言語に関わる調査・研究・発信能力

履修上の注意/Special notes, cautions

基本的に英語で行う講義授業であるため、TOEFL430点以上を取得しているか、一学期間以上の留学経験があることが望ましい。これ以外の者は、事前に担当教員に相談する必要がある。

評価方法/Evaluation

授業への貢献度および授業時発表などの平常点（10%）、小テストやレポートなどの課題（70%）、試験（20%）授業内で課したレポートにて、優れた内容は随時、授業で紹介しフィードバックを行う。

教材/Text and materials

資料はMoodleにアップするので、各自ダウンロードして使用すること。

参考書・参考資料等：

『概説 アメリカ文化史』 笹田直人、堀真理子、外岡尚美 編 ミネルヴァ書房、2002年

『アメリカ文化史入門：植民地時代から現代まで』 亀井俊介 編 昭和堂、2006年

質問や相談の方法/Instructor contact

研究室： 第2研究室棟 504研究室

オフィスアワー： 月曜日 昼休み

メールアドレス： Moodleに記載されているメールアドレス

※授業に関する質問や相談などがある場合は、上記時間に研究室へ訪問するか、メールで質問すること。